令和八年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

国　語

受験番号
氏　名

注意事項

一　「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。

二　問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。

三　解答は、すべて解答用紙に記入してください。

四　「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。

五　退席の指示があるまで、その場でお待ちください。

六　この問題用紙は、持ち帰ってください。

copyright2025_kyosai-guild.jp

一　次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

copyright2025_kyosai-guild.jp

問一　傍線部①～⑧について、カタカナを漢字に改めよ。

問二　傍線部Ⅰについて、この例示には筆者のどのような意図があると考えられるか、書け。

問三　傍線部Ⅱについて、これを授業で扱い、菅原孝標女の、『源氏物語』への思いを説明したい。その際の板書例を、語の意味や文法事項に触れながら、示せ。

問四　傍線部Ⅲについて、どのようなことを指しているか、説明せよ。

問五　傍線部Ⅳについて、その具体例を自分の経験に触れながら書け。ただし、『源氏物語』以外の文学作品を取り上げること。

問六　本文における筆者の主張を板書したい。その板書例を示せ。

問七　「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）の国語に示された科目「言語文化」の、２内容〔思考力，判断力，表現力等〕Ｂ読むこと(1)オ「作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。」について指導する際に、本文で述べられている筆者の考えを生徒により深く理解させるために、どのような言語活動が考えられるか、具体的に書け。

copyright2025_kyosai-guild.jp

二　次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

今は昔、紫式部、上東門院に歌読み優の者にてさぶらふに、大斎院より春つ方、「つれづれに候ふに、さりぬべき物語や候ふ」とたづね申させ給ひければ、御草子ども取り出ださせ給ひて、「いづれをか参らすべき」など、選り出ださせ給ふに、紫式部、「みな目馴れて候ふに、新しくつくりて参らせさせ給へかし」と申しければ、「さらばつくれかし」と仰せられければ、源氏はつくりて参らせたりけるとぞ。

いよいよ心ばせすぐれて、めでたきものにてさぶらふほどに、伊勢大輔参りぬ。それも歌読みの筋なれば、殿いみじうもてなさせ給ふ。奈良より、年に一度、八重桜を折りて持て参るを、紫式部取り次ぎて参らせなど、歌読みけるに、式部、「今年は大輔に譲り候はむ」とて、譲りければ、取り次ぎて参らするに、殿、「遅し遅し」と仰せらるる御声につきて、

Ｘいにしへの奈良の宮この八重桜今日九重に匂ひぬるかな

「取り次ぎつるほどほどもなかりつるに、いつの間に思ひつづけけむ」と、人も思ふ、殿もおぼしめしたり。めでたくてさぶらふほどに、致仕の中納言の子の、越前の守とて、いみじうやさしかりける人の妻に成りにけり。逢ひはじめたりけるころ、石山に籠りて、音せざりければ、つかはしける、

みるめこそあふみの海にかたからめ吹きだに通へ志賀の浦風

と詠みてやりたりけるより、いとど歌おぼえまさりにけり。

（『古本説話集』による）

（注）上東門院…一条天皇の中宮彰子。　大斎院…選子内親王。　殿…藤原道長。　致仕…退官していること。

問一　波線部a～dを、それぞれ口語に訳せ。

問二　傍線部①中の「申さ」「給ひ」について、それぞれ誰への敬意を表しているか、答えよ。

問三　本文には『源氏物語』執筆の経緯が記されている。その経緯を、本文の会話と会話主に着目して、説明したい。その際の板書例を示せ。

問四　Ｘの和歌について、対比されているものを明らかにして口語に訳せ。

問五　傍線部②について、なぜこのような評判になったのか説明せよ。

問六　「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）の国語に示された科目「古典探究」の、２　内容〔思考力，判断力，表現力等〕Ａ　読むこと(1)オ「古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりすること。」について、本教材の第二段落以降を用いて生徒の考えを広げたり深めたりするに当たって、生徒は自己のどのような経験と結び付けると想定できるか。具体的に書け。

copyright2025_kyosai-guild.jp

三　次の文章を読み、後の問いに答えなさい。（設問の都合上、訓点を省いたところがある。）

晉書、楽広字彦輔、南陽淆陽人。遷ニ河南尹一。常有ニ親客一、①久闊不ニ復来一。広問ニ其故一。答曰、前在レ坐蒙レ賜レ酒。方レ飲忽見ニ盃中有一レ蛇、意甚悪レ之。既飲而疾。于時河南庁事a壁上有ニ角弓一、漆画作レ蛇。広意盃中蛇即角弓影也。復置ニ酒於前処一、謂レ客曰、盃中復有レ所レ見不。答曰、所レ見如レ初。広乃告ニ其所以一。客豁然意解、沈痾頓愈。

広所在為レ政。無ニ当時功誉一、毎レ去レ職、遺愛為ニ人所一レ思。凡論レ人、必先称ニ其所一レ長、則所レ短不レ言而自見。後代ニc論レ人、必先称ニ其所一レ長、則所レ短不レ言而自見。後代ニ王戎一、為ニ尚書令一。始戎薦レ広、而終践ニ其位一。時人美レ之。

（『蒙求』による）

（注）楽広…東晋の政治家。談論に優れた能吏。
河南尹…「尹」は治める、正すの意で、「長官」を指す。
庁事…官庁を治めるところの意で、「役所」を指す。
豁然…景色や心境がからりと開けるさま。疑いや迷いがさらりと解けること。
沈痾…ながわずらい。年久しく治らないでいる病気。
王戎…東晋の名士。竹林の七賢の一人。
尚書令…尚書省の長官。
美む…讃美する。

問一　波線部a～cの語の読み方を、送り仮名も含めて（歴史的仮名遣いの場合はそのまま）平仮名で答えよ。

問二　傍線部①、③を口語に訳せ。

問三　傍線部②について、答えた内容はどこまでか。本文中の終わりの三字を抜き出せ。（訓点は不要。）

問四　傍線部④について、「沈痾頓愈」とあるが、それはなぜか。その理由を説明せよ。

問五　傍線部⑤について、
(1)句法を説明するための板書例を示せ。
(2)口語に訳せ。

問六　傍線部⑥について、楽広が人を批評する際の考え方を簡潔に説明せよ。

問七　傍線部⑦の「之」が指す内容を二つ簡潔に説明せよ。

copyright2025_kyosai-guild.jp

国語解答用紙

二枚中の一

受験番号

氏　名

（８年）

一

問一

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

問二

問三

問四

問五

問六

問七

copyright2025_kyosai-guild.jp

国語解答用紙

二枚中の二

受験番号

氏　名

（8年）

二

問一

a

c

b

d

問二

申さ

給ひ

問三

問四

問五

問六

三

問一

a

b

c

問二

①

③

問三

問四

問五

(1)

(2)

問六

問七

copyright2025_kyosai-guild.jp

以下はあくまでも解答の一例です。

国語解答用紙　二枚中の一

受験番号

氏　名

（8年）

一　【100点】

問一　【③点×8＝㉔点】

①	聖地
②	関与（干与）
③	調度
④	長
⑤	弁
⑥	規範（軌範）
⑦	漬（浸）
⑧	誘拐

問二　【⑭点】

（例）文学の作品理解には「トポス」という切り口が、中世作品のみならず近現代作品においても重要であることを、具体的な地名等を挙げて説明することで、読者に理解させるという意図。

問三　【⑫点】

（例）后の位も何にかはせむ　係り結びの法則「反語」
〔当時の女性の最高の栄誉〕

『源氏物語』を読むこと
＜
后の位

問四　【⑭点】

（例）古典作品の作者を尊重しながらも、その作者と全く同じ世界に立とうとするのではなく、現代を生きる自己の視点を大事にしながら、古典作品について書き改めたり追記したりすること。

問五　【⑭点】

（例）『徒然草』について、これまで兼好法師の無常観に基づく随筆だとばかり捉えてきたが、何事にもマニュアルを求める現代人の視点に立つと、上達論や処世術としても捉えられる。

問六　【⑩点】

（例）　作家や登場人物や舞台にこだわり、現代人であることを忘れて読む読書
＞
現代と照らし合わせた自分らしい読み方を探っていく読書

問七　【⑫点】

（例）「羅生門」と、その基となった『今昔物語集』の文章を読み比べ、自分なりの読み方について論述したり、発表したりする活動。

copyright2025_kyosai-guild.jp

以下はあくまでも解答の一例です。

国語解答用紙　二枚中の二

受験番号

氏　名

（8年）

二【50点】

問一

a	（例）適当な物語はございますか	b	（例）素晴らしい人としてお仕えしている頃
c	（例）大切に扱いなさる	d	（例）たいそう風流であった人

【④点×4＝⑯点】

問二

申さ	上東門院（中宮彰子）	給ひ	大斎院（選子内親王）

【③点×2＝⑥点】

問三

（例）　大斎院「暇なときに読む物語はないか」
　　←
　彰子「どれがよいと思うか」
　　←
　紫式部「目新しい物はないから新しく作った方がよい」
　　←
　彰子「それならあなたが作りなさい」

【⑧点】

問四

（例）昔、都があった奈良の八重桜が、今日は九重の宮中に、美しく咲いていることだよ。

【⑥点】

問五

（例）八重桜の和歌の評判も高かった上に、会うのが難しいのであれば手紙くらい書いてほしいという気持ちを、場面にあった掛詞を巧みに用いて上手に詠んだから。

【⑩点】

問六

（例）自分の気持ちを、言葉や伝え方を工夫することでうまく伝えることができた経験。

【④点】

三【50点】

問一

a	たちまち	b	おもへらく	c	およそ

【②点×3＝⑥点】

問二

①	（例）決して訪れることはなかった。	③	（例）再び（何か）見えるかどうか。

【④点】　【⑤点】

問三

飲	而	疾

【⑤点】

問四

（例）客は盃に蛇の入った酒をそのまま飲んだと思い病になったが、その蛇は壁に掛かっていた角弓に描かれていた蛇の絵が映っただけであると楽広によって知らされ、思い込みが解けたから。

【⑥点】

問五

(1)　（例）遺愛為人所思。　↓　為ニA所レ（ス）B　【受身】

(2)　（例）民を思ってやってきた行いの跡は人々に追慕された。

【⑤点×2＝⑩点】

問六

（例）人の長所を取り上げて褒めることによって、その人の短所は口に出さずともおのずと現れるものであるという考え方。

【⑥点】

問七

（例）楽広が尚書省の長官になったこと。	
（例）王戎が楽広を長官に推薦したこと。	

【④点×2＝⑧点】

copyright2025_kyosai-guild.jp